

北海道大学 大学院メディア・コミュニケーション研究院
大学院国際広報メディア・観光学院
観光学高等研究センター



映画やTVドラマ、アニメやゲームなどのメディアコンテンツは、舞台となった場所に新たなイメージを付与し、現地への旅行行動を生み出す。なぜ人は舞台を訪れる旅を行うのか。また地域社会はこうした現象をどう受けとめているのだろうか。

国際シンポジウム

フィルム / コンテンツ・ツーリズム と地域社会

Film/Contents Tourism and Local Communities



写真協力：札幌痛タク実行委員会

日時

2012年10月7日 日 13:00 ~ 16:00

入場無料・申込不要

会場

北海道大学学術交流会館 小講堂 (札幌市北区北8条西5丁目 *正門入って左)

使用言語：日本語・英語
(同時通訳あり)

基調講演

● 場所と想像力—ファンタジーからリアリティへ スー・ビートン (ラ・トロブ大学, オーストラリア)
Places of the Imagination: from fantasy to reality Sue Beeton (La Trobe University)

シンポジウム

● 「歴女」とツーリズム—戦国・幕末ブーム、地域、ネットワーク 須川亜紀子 (関西外国語大学)
● 大河ドラマツーリズム—『新選組!』と『龍馬伝』 フィリップ・シートン (北海道大学)
Taiga Dramas and Tourism: *Shinsengumi!* and *Ryoma-den* Phillip Seaton (Hokkaido University)

ディスカッサント：山村高淑 (北海道大学)

問い合わせ先：メディア・コミュニケーション研究院 清水賢一郎 E-Mail: kshimizu@imc.hokudai.ac.jp TEL: 011-706-5342